

取扱説明書

高調波ガイドライン適合品

保管用



yamada

蛍光灯ペンダント

(一般屋内専用)

ご使用になれる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

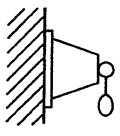
品番	適合ランプ	適合電線	使用電圧
PF-2472	FHF32W[同梱]・FL40W・FLR40W・FLR40/36W	VVFケーブルφ1.6/2.0	AC100V

この取扱説明書のマークについて

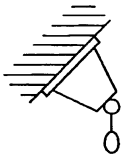
- ⚠ **警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ **注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- 🚫 このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

施工上の注意

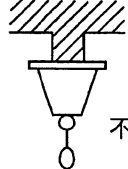
⚠ 警告

- ❗ 必ずVVFφ1.6またはφ2.0の単線のケーブルを使用してください。
★指定以外のケーブルを使用すると接触不良による過熱によって火災になる場合があります
- ❗ 端子に差し込むケーブルの芯線は、真っ直ぐな線を正しく挿入してください。
★曲がった線やよれた線は、接触不良となり接触抵抗の増加を招いて火災の原因となる場合があります。
- 🚫 次のような場所には取付けないでください。★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。
- 

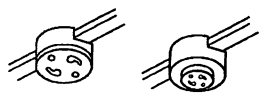
壁面



45°以上
傾斜した場所



不安定な場所








レースウェイにセットされている
配線器具
- 補強材の無い場所への取り付け
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け(埋込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。)
- 🚫 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。
- 🚫 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。
- 🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
- 🚫 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠ 注意





- ❗ AC100V専用です、必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯状態になります。また、器具の故障の原因となります。
- ❗ この器具は周囲温度5℃から35℃で使用してください。
★周囲温度が高い場合、寿命が短くなります。
★過熱して発煙や火災の原因となることがあります。
- 🚫 調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
★不良点灯や、調光器、照明器具の故障の原因となります。

使用上の注意

警告

- 
 必ず指定されたランプを使用してください。
 ★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
 そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。
- 
 濡れた手で触らないでください。
 ★感電の原因となります。
- 
 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
 ★火災や感電事故の原因となります。
- 
 器具の下面を布などで覆わないでください。
 ★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- 
 ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
 ★感電事故の原因となります。

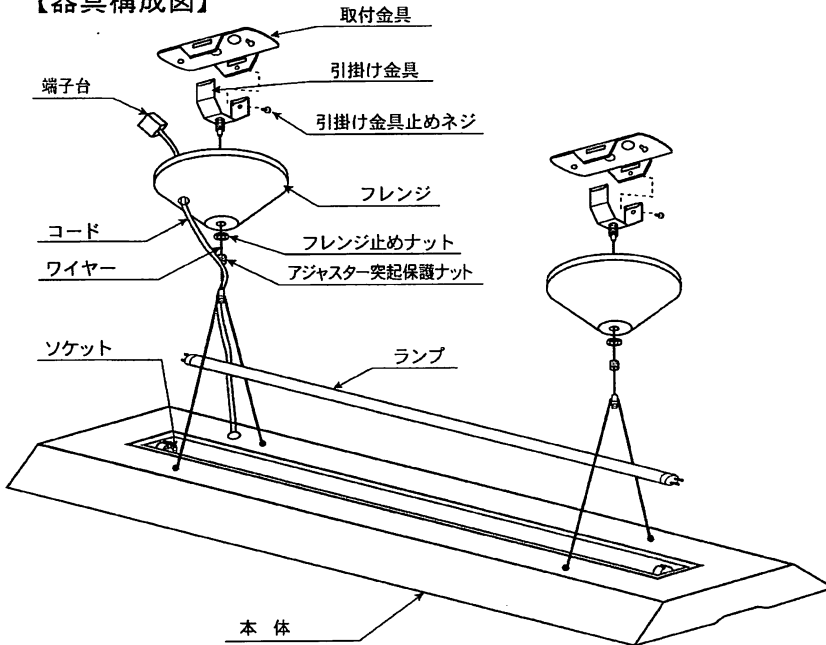
注意

- 
 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口)の近くに設置しないでください。
 ★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。
- 
 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
 ★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- 
 ラジオ・テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
 ★雑音や誤動作の原因となります。
- 
 点灯中や消灯直後の電球、器具内には触らないでください。
 ★火傷の原因となります。

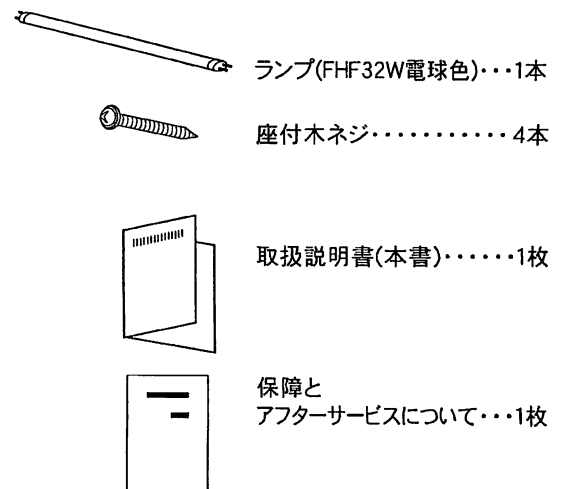
各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
 (不足している部品があった場合には、販売元または山田照明サービス窓口までご連絡ください。)






【器具構成図】

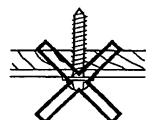
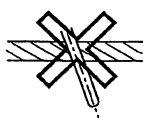
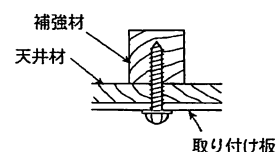
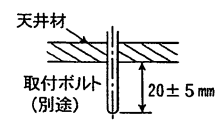
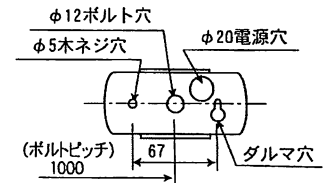


【付属品】



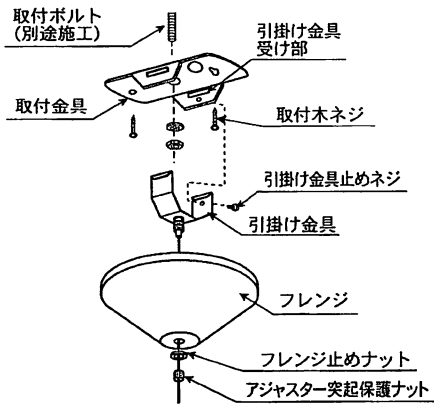
取り付け場所の確認

- 
警告
 - 
 器具を取り付ける前に、器具取付位置を確認してください。
 - 
 器具をボルト(別途)で取り付ける場合、取付ボルトは垂直に出し、天井面からのボルト先端(20±5mm)を注意してください。
 - 
 器具を木ネジで取り付ける場合、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
 ★補強材のない場所に取り付けると器具の落下事故の原因となります。
 ★ボックスに取り付ける場合は、別途ボックス止め用のネジをご用意ください。
 - 
 建築の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがあります。その様な場合には、器具取付場所の構造を確認上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



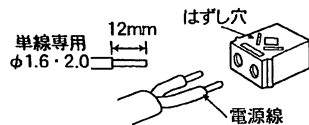
取り付け方 ⚠️ 注意 ⚠️ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- ⚠️ 注意 ⚠️ 器具の取付は、説明書に従い確実に行ってください。
 ★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。
- ⚠️ 端子に差し込むケーブルは、必ずVVF φ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を仕様してください。
 ★指定以外のケーブルや曲がった芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。



1. フレンジを取り付けます。

- ①取付金具を天井面に付属の木ネジ(4本)又はボルト、ナット(別途)で取り付けます。
- ②引掛け金具を取付金具に引っ掛けて、引掛け金具止めネジで固定します。
- ③電源線を電源端子のストリップゲージ(12mm)にあわせて芯線を剥き、電源端子に接続します。
- ④フレンジを押し上げてナットで固定します。



2. ワイヤーの長さを調節します。



※ワイヤーの長さを調節する際は、器具高さが上図の範囲内(800~3000mm)となるように調節してください。

- ① a) ワイヤーを短くする場合は、ワイヤーをワイヤーアジャスターに押し込みます。ワイヤーは適当な位置で固定されます。
- b) ワイヤーを長くする場合は、ワイヤーアジャスターの先端突起部を押し込みながら、ワイヤーを引き抜きます。突起部を離すとワイヤーは固定されます。

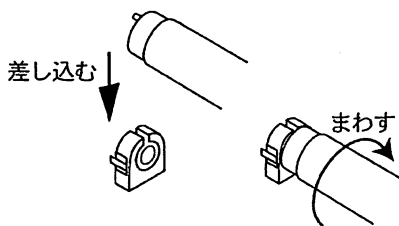
⚠️ 注意 ⚠️ 器具が水平になるように調整してください。
 ★落下の原因になります。

- ②ワイヤーの長さ調節が終わりましたら、アジャスター突起保護ナットを取り付けます。
- ③余ったコードは本体内に収めてください。

3. ランプをセットします。

ランプのピンをソケットの溝にまっすぐ差し込み、90°回します。

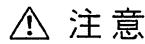
⚠️ 注意 ⚠️ ランプは乱暴に扱わないでください。
 ★ランプが割れてけがをすることがあります。



スイッチ操作

壁スイッチ(別途施工)にて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて



注意



必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を 照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

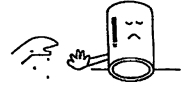
注意



- ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。



- スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。 ★感電事故の原因となります。



- ランプは乱暴に扱わないでください。 ★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
- 適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください
★不適切なランプを使用すると異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

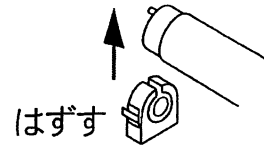
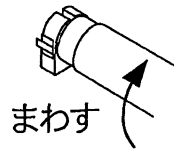
◆ランプの交換

1. スwitchを切ります。



2. ランプを交換します。

ランプを90度回しソケットからランプをはずします。

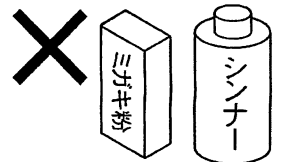


3. ランプをセットします。

『取り付け方』の「3. ランプのセット」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

1. スwitchを切ります。
2. 柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。



■こんな時には

ご使用の器具に異常を感じた時には、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

スイッチを入れても点灯しない。	ランプは確実にセットされていますか。 ランプが切れていませんか。新しいランプと交換してみてください。
ランプがすぐ切れてしまう。	天井内の断熱材・遮音材は器具から離して設置されていますか。 (この器具は断熱材・遮音材で覆っての使用はできません。)
殺虫剤などの薬品をかけてしまった。	スイッチを切り、水に浸した布を固く絞って、薬品を充分拭き取ります。

★該当項目をチェックしても、症状が改善されない場合には、販売元までお問い合わせください。

■照明器具の寿命について

照明器具の寿命は使用環境（使用状態）で左右されますが、おおむね8年から10年です。

8年以上ご使用になりますと器具に使用している電線などの絶縁物が劣化して、漏電や感電事故の危険性が増してきます。

8年以上ご使用の照明器具については、専門家の点検を受けることをお勧めします。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明営業所にご相談ください。